## 3 処理方法別典型7公害の直接処理件数

- 典型7公害の直接処理では、「発生源側に対する行政指導が中心」が約6割、「原因の 調査が中心」が約2割
  - ✓ 「大気汚染」「騒音」「振動」では「発生源側に対する行政指導が中心」の割合が高い
  - ✓ 「水質汚濁」「低周波音」では「原因の調査が中心」の割合が高い

〈統計表第25表参照〉

典型7公害の直接処理件数 (42,121 件) を処理方法 <sup>8</sup>別にみると、「発生源側に対する行政指導が中心」が26,969 件 (64.0%) と最も多く、次いで「原因の調査が中心」が9,620 件 (22.8%)、「申立人に対する説得が中心」が1,785 件 (4.2%)、「当事者間の話合いが中心」が828 件 (2.0%)となっている(図19、表10)。

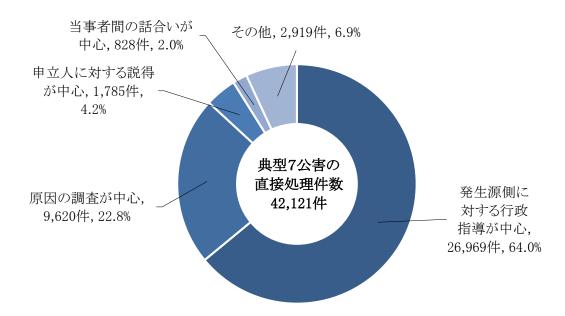


図19 処理方法別典型7公害の直接処理件数

<sup>8</sup> 処理方法の区分は、「発生源側に対する指導が中心」「当事者間の話合いが中心」「申立人に対する説得が中心」「原因の調査が中心」及び「その他」の5種類

表10 処理方法別、典型7公害の直接処理件数

(単位:件)

公害の種類		合 計	発生源側に 対する行政 指導が中心	当事者間の話合いが中心	申立人に対す る説得が中心	原因の調査が 中心	(単位:件)
							その他
直接処理件数	典型7公害	42, 121	26, 969	828	1, 785	9, 620	2, 919
	大気汚染	13, 139	9, 807	118	377	2, 135	702
	水質汚濁	4, 559	1, 754	43	82	2, 176	504
	土壤汚染	134	69	6	8	36	15
	騒音	14, 394	9, 639	444	854	2, 413	1, 044
	低周波音	200	35	17	28	102	18
	振動	1, 701	1, 139	61	80	310	111
	地盤沈下	15	1	0	3	6	5
	悪臭	8, 179	4, 560	156	381	2, 544	538
構成比(%)	典型7公害	100.0	64. 0	2.0	4. 2	22. 8	6. 9
	大気汚染	100.0	74. 6	0.9	2. 9	16. 2	5. 3
	水質汚濁	100.0	38. 5	0.9	1.8	47. 7	11. 1
	土壤汚染	100.0	51. 5	4. 5	6. 0	26. 9	11. 2
	騒音	100.0	67. 0	3. 1	5. 9	16. 8	7. 3
	低周波音	100.0	17. 5	8. 5	14. 0	51. 0	9. 0
	振動	100.0	67. 0	3. 6	4. 7	18. 2	6. 5
	地盤沈下	100. 0	6. 7	0.0	20. 0	40.0	33. 3
	悪臭	100.0	55.8	1.9	4. 7	31. 1	6.6